令和７年度東温市基幹相談支援センター活動報告

令和７年７月末現在

１　相談者実人数

	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	不明	合計
18 歳未満	6 人	3 人	10 人	3 人	27 人	1 人	0 人	1 人	28 人	79 人
18～64 歳	22 人	24 人	38 人	49 人	6 人	2 人	0 人	0 人	19 人	160 人
65 歳以上	5 人	1 人	3 人	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	13 人
合計	33 人	28 人	51 人	55 人	33 人	3 人	0 人	0 人	48 人	252 人

２　延べ支援件数

福祉サービスの利用支援等	548 件	就労	14 件
障害や病状の理解	57 件	社会参加・余暇活動	4 件
健康・医療	135 件	権利擁護	3 件
不安の解消・情緒安定	141 件	住宅入居等	8 件
保育・教育等	104 件	権利擁護（虐待）	3 件
家族関係・人間関係	51 件	権利擁護（成年後見）	1 件
家計や経済	21 件	発達障害に関する相談	15 件
金銭管理	12 件	セルフプランに関する支援	4 件
日常生活	29 件	その他	18 件
合　　計			1,168 件

３　地域自立支援協議会（部会、連絡会）

部会名	打ち合わせ	部会、小部会、交流会、茶話
合同連絡会	１回	１回
子ども部会	１回	１回
成人部会	１回	１回
相談支援部会	３回	３回

４　研修会の開催

実施日	名称	対象者	参加人数
5 月 14 日	性的マイノリティについて	障害相談窓口職員等	19 名
5 月 28 日	ペアレント・プログラム①	発達に悩みをもつ児童の保護者	8 名
6 月 4 日	ペアレント・プログラム（①の補講）	発達に悩みをもつ児童の保護者	1 名
6 月 11 日	ペアレント・プログラム②	発達に悩みをもつ児童の保護者	7 名
6 月 18 日	ペアレント・プログラム（①の補講）	発達に悩みをもつ児童の保護者	1 名
6 月 18 日	ペアレント・プログラム（②の補講）	発達に悩みをもつ児童の保護者	1 名
6 月 24 日	ペアレント・プログラム（②の補講）	発達に悩みをもつ児童の保護者	1 名

6 月 25 日	ペアレント・プログラム③	発達に悩みをもつ児童の保護者	9 名
7 月 4 日	ペアレント・メンターCafé	発達に悩みをもつ児童の保護者	6 名
7 月 9 日	ペアレント・プログラム（③の補講）	発達に悩みをもつ児童の保護者	1 名
7 月 9 日	ペアレント・プログラム④	発達に悩みをもつ児童の保護者	8 名
7 月 17 日	ペアレント・プログラム（④の補講）	発達に悩みをもつ児童の保護者	2 名
7 月 23 日	ペアレント・プログラム⑤	発達に悩みをもつ児童の保護者	8 名
7 月 30 日	きょうだい児イベント	きょうだい児及び保護者	5 名

5　教育、医療、保健、福祉との連携（依頼された支援会議等に出席）

依頼元	回数	依頼元	回数
保育所	9 回	市　健康推進課	1 回
幼稚園	0 回	市　学校教育課	0 回
特別支援学校	0 回	市　保育幼稚園課	0 回
小学校	6 回	医療機関	2 回
中学校	0 回	社会福祉協議会	1 回
障害児通所支援事業所	1 回	基幹相談支援センター	1 回
障害福祉サービス	0 回	その他（保護観察所）	4 回
市　社会福祉課	0 回		

6　事業所等、関係機関との関係、連携について

・上記５のとおり、求めに応じケース会議等への参加を行うほか、計画相談支援において、個別のケースの担当者会議等を通じ関連事業所・機関との連携をその都度行っている。

・障がい福祉サービスに関係する職員が参集し、情報交換や事例検討、勉強会を行い、支援困難事例への対応や社会資源の活用を考える。また、活動を通じてお互いの資質の向上を図るとともに連携を深め、障がい福祉の推進に努めることを目的に、福祉サービス関係団体連絡会を今年度は計４回開催予定のうち１回実施した。

・発達障がい相談支援体制を整えるべく、発達支援センター等連絡会に参加し、県の発達障がい者支援施策や他市町の動向の確認のほか、グループワークを通じて各市町の担当者との情報交換を行った。

・「障害年金の申請書の書き方」研修は、子ども部会での実施から、一定の需要を踏まえ、今後は基幹相談支援センターが継続的に行うこととなった。なお、本年度は 12 月 4 日（木）の開催を予定している。また、子ども部会では以前より『防災に関する取り組み』の必要性を指摘する声があり、こうした内容は行政が担うことが望ましいと考え、市役所に相談を持ち掛けているところである。

7　権利擁護・虐待防止業務

・本人が詐欺メールに反応し、高額当選を信じて口座番号を伝えようとした。家族や支援者、警察が詐欺であると伝えても納得せず、強く否定。判断力の低下が見られ、今後の対応に不安が残るため、関係者が連携して見守りを行うこととしている。

・障害者虐待防止に向けた研修を、９月の開催を目指して準備を進めている。

８　その他

・総合保健福祉センター火災訓練に参加した。

９　助言をいただきたい事項

現在、自立支援協議会の特別専門部会として「医療的ケア児部会」が昨年度に発足しました。これまで同部会では、医療的ケア児の保育所入園に関する受け入れ体制について協議が行われてきました。また、座談会という形ではありましたが、子ども部会の主催により、災害時の対応を含め、医療的ケア児を取り巻く幅広い課題について意見交換が行われてきたところです。

このように、特別専門部会や子ども部会の取り組みを通じて、医療的ケアを必要とする児童やその家族を地域で支えていく体制の整備が、これまで以上に求められていることが明らかになってきています。しかし現状では、医療的ケア児とその家族が安心して地域で暮らし続けるには、なお十分な仕組みが整っているとは言えません。

こうした状況を踏まえ、臨時的に招集される特別専門部会の形にとどめるのではなく、恒常的に議論や検討を深めていくことのできる場が必要ではないかと考えています。そのためには、専門部会としての独立化、あるいは「医療的ケア児支援協議会」として別組織化を図ることが適切ではないかと考えます。つきましては、この点について協議会において御意見をいただければ幸いです。